

# 患者の状況

調査期間 平成24年1月1日～平成24年12月31日

背景情報(初回橈骨骨折時)	施設内整理番号	記載者名
患者 イニシャル	性別 女 男	年齢 歳
身長 体重	身長 cm	体重 kg
骨折の既往	①あり(以下↓該当するものに○) ②なし ③不明	
	1) 大腿骨近位部	2) 上腕骨近位部 3) 椎体骨折
	4) その他( )	
骨折時の住まい	①一般の住宅(自宅など) ②老健などの施設	③病院などの医療機関 ⑤不明 ④その他
受傷前の歩行能力	①独歩 ②部分介助で屋外歩行(杖、シルバーカー使用を含む)	③屋内のみ自由歩行 ⑥不明 ④屋内を伝い歩行 ⑤歩けない
出産の経験	なし あり 不明	閉経前 閉経後 不明
身長低下の有無	なし	あり 不明
橈骨遠位端骨折前の骨粗鬆症診断の有無	なし	あり 不明
ありの場合		
貴施設で骨折直前に測定した骨密度の測定年月日	昭和 / 平成	年 月 日
その時の骨密度	YAMの	%
測定部位	① 橈骨 ② 中手骨	③ 腰椎 ④ 大腿骨 ⑤ 踵骨 ⑥ 不明
薬物療法の有無	なし	あり
認知症の有無	なし	あり 不明
既往症の有無	なし	あり 不明
ありの場合	① 内科系疾患(高血圧 心不全 不整脈 糖尿病 呼吸器疾患等)	
	② 神経系疾患(脳卒中 パーキンソン病等)	
	③ 運動系疾患(変形性関節症 関節リュウマチ等)	
橈骨遠位端骨折の発生日	平成	年 月 日
骨折部位	右	左
治療方法	① ギプス ② 掌側プレート	③ 創外固定 ④ ピンニング ⑤ その他
今回の橈骨遠位端骨折後の骨密度の測定の有無	なし	あり
ありの場合の骨密度	YAMの	%
測定部位	① 橈骨 ② 中手骨	③ 腰椎 ④ 大腿骨 ⑤ 踵骨 ⑥ 不明
今回の橈骨遠位端骨折後の骨粗鬆症治療の有無	あり	なし
ありの場合、薬物療法の有無	あり	なし
今回使用した薬剤コード番号(別表参照)		

骨粗鬆症関連薬剤 一覧表 (薬剤 \* 各製剤において五十音順/記入用コード番号)

ビスホスネート製剤	アクトネル	B1	活性ビタミンD3製剤	アルファロール	D1	経口カルシウム製剤	アスバラ-CA	CA1
	ダイドロネル	B2		エディロール	D2		リン酸水素カルシウム	CA2
	フォスマック	B3		ロカルトロール	D3		その他の経口カルシウム製剤	CA3
	ベネット	B4		ワンアルファ	D4			
	ボナロン	B5		その他の活性ビタミンD3製剤	D5	イブリフロン製剤	オステン I1 その他のイブリフロン製剤 I2	
	ボノテオ	B6	カルシトニン製剤	エルシトニン	C1	PTH	テリボン	P1
	リカルボン	B7		カルシトラン	C2		フォルテオ	P2
	その他のビスホスネート	B8		サーモトニン	C3		その他のPTH	P3
選択的エストロゲン受容体作動	エビスタ	S1	ビタミンK2製剤	グラケ-	K1	その他の製剤		X
	ビビアント	S2		その他のビタミンK2製剤	K2			
	その他のSERM	S3						